2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	卒業研究 (Graduation Thesis)		
ナンバリングコード	P41703	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	6	配当学年 / 開講期	4 / 通年
必修・選択区分	必修		
授業コード	P170305	クラス名	坂井研究室
担当教員名	坂井　美穂		
履修上の注意、履修条件	卒業研究着手条件を満たしていること 実験計画をしっかり練り、毎日実験するようにして下さい。 自ら学び、考え、行動してください。 課題と出席を欠かさないでください。卒業論文、卒業研究発表会と中間発表会での発表は必須です。 グループでの取り組みであっても、グループ内で役割分担をし、各自の取り組みを明確にします。		
教科書	適宜指示します		
参考文献及び指定図書	適宜指示します		
関連科目	これまでに履修した専門教育科目、教養基礎科目の全て		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①自分の専門分野について問題意識と探究心を抱くことができる ②課題に対し、積極的に調査・分析・研究することができる ③継続して研究等を行い、締切をまもることができる。		10点	10点
【知識・理解】	①自分の専門分野について自ら調査し、知識向上に努めることができる		20点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	①卒業研究報告書を書くことができる ②卒業研究報告書のプレゼンテーションができる		15点	10点
【思考・判断・創造】	①研究計画を立案することができる。 ②適切な分析手法を選択することができる		15点	10点

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

[Sレベル]出席基準を満たし、かつ、到達目標を満たしている。
[Aレベル]出席基準を満たし、かつ、到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]出席基準を満たし、かつ、到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]出席基準を満たし、かつ、到達目標を一部満たしている。
卒論発表会での発表内容および卒業研究論文、日常の実験の総合判断をします。
中間発表(必)、口頭審問①(必)、ポスターデモンストレーション(必)

○授業の目的・概要等		
授業の目的	配属研究室の教員の指導下で、与えられた研究課題について研究を実施します。学生は個人研究、共同研究に関係なく、期末に実施する情報メディア学科の卒業研究発表会で報告することが義務付けられその結果で考課を受けることになります。 学生はこの卒業研究の過程で文献調査、研究計画立案、実験手法、データの解析と取りまとめ方など、研究全般における基本的な手法について修得すると共に、自分の考え方を取りまとめ、他人に理解してもらうことができる技術を養うことになります。	
授業の概要	テーマに沿って各自、又はグループで主体的に取組みます。 月1回、実験内容に関する報告会があります。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 ： 卒業研究（Graduation Thesis ）　授業コード：P170305
担当教員： 坂井　美穂

学修内容

1. オリエンテーション・実験計画
1年間で取り組む卒業研究について、計画を含めて解説する
次週までに卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： ゼミまでに卒業研究の方向性について計画表を立てる（月例報告・実験計画）（約2.0h）
復習： ゼミでの打ち合わせを踏まえ、事前に作成した計画表の修正を行う（約2.0h）

2. 実験計画
卒業研究の立案に向け、過去の卒業論文から先輩方の取り組みについて学習します
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： ゼミまでに過去の卒業研究論文を確認し、その取り組みをどのように行ったか調査をする（約2.0h）
復習： ゼミでの内容を踏まえ、取り組みの修正や気づきについてまとめる（約2.0h）

3. テーマ・文章作成
1年間で取り組むテーマについて立案し文章にまとめます。
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： 卒研のテーマを決め、類似論文を探し、これから明らかにしたいことについてまとめてくる（約2.0h）
復習： ゼミでの内容を踏まえ、まとめたレポートを修正する（約2.0h）

4. 月例報告・実験計画
設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組みます
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： 明らかにしたいことについて仮説を立て、その検証方法について調べてくる（約2.0h）
復習： 仮説と検証方法の修正を行い、文章化および計画の修正を行う（約2.0h）

5. 仮説の立案1、実験
設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組みます
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： 既往の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。（約2.0h）
復習： 自分で調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う（約2.0h）

6. 仮説の立案2、実験
設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組みます
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： 既往の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。（約2.0h）
復習： 自分で調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う（約2.0h）

7. 仮説の立案3、実験
設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組みます
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： 既往の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。（約2.0h）
復習： 自分で調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う（約2.0h）

8. 月例報告・実験計画
設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組みます
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： 既往の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。（約2.0h）
復習： 自分で調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 ： 卒業研究（Graduation Thesis ）　授業コード：P170305
担当教員： 坂井　美穂

学修内容

9. 仮説の立案1、実験
設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組みます
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： 既往の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。（約2.0h）
復習： 自分で調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う（約2.0h）

10. 仮説の立案2、実験
設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組みます
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： 既往の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。（約2.0h）
復習： 自分で調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う（約2.0h）

11. 仮説の立案3、実験
設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組みます
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： 既往の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。（約2.0h）
復習： 自分で調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う（約2.0h）

12. 月例報告・実験計画
設定したテーマに向けた仮説検証と問題解決に取り組みます
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： 既往の論文や参考図書等を調査する。また、検証や計画の確認を行う。（約2.0h）
復習： 自分で調査・研究などについてまとめ、計画の修正等を行う（約2.0h）

13. プレゼン資料作成
卒業研究での取り組みで明らかになったことを、論文とプレゼンテーションにまとめます
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： これまでのレポートをもとに卒業論文の下書きおよびデータのまとめ（下書き）を行う（約2.0h）
復習： ゼミでの指導を踏まえ、卒業論文及びデータのまとめの修正を行い、プレゼン用資料を作成する（約2.0h）

14. プレゼン練習
下級生からの研究室訪問に対して対応します
次週までに指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： これまでのレポートをもとに卒業論文の下書きおよびデータのまとめ（下書き）を行う（約2.0h）
復習： ゼミでの指導を踏まえ、卒業論文及びデータのまとめの修正を行い、プレゼン用資料を作成する（約2.0h）

15. 報告（口頭審問）
取り組んだ口頭審問の後に取り組んだことを、プレゼンテーションします。
指摘された事項に関し再検証し、卒業研究に関する取り組みを最低4時間以上行ってください。

予習： プレゼン資料を完成後、プレゼン内容についての確認を行い、個別指導を受ける（約2.0h）
復習： プレゼンで質問された事項や指摘された事項についての追加分析・調査、論文の修正を行う（約2.0h）

16.

予習：
復習：